

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

### 1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市民会館	千葉市文化センター
条例上の設置目的	千葉市民会館設置管理条例（抄） 第1条 本市は、市民の文化の向上を図り、福祉の増進に寄与するため、次のとおり市民会館を設置する。	千葉市文化センター設置管理条例（抄） 第1条 本市は、市民の文化の向上を図り、福祉の増進に寄与するため、次のとおり文化センターを設置する。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	当該施設における実演芸術の鑑賞を通じて、文化に対する市民の興味を喚起し、さらに理解を深めるとともに、文化団体等の大規模な発表の場として、市民の文化芸術活動を支援していくこと。	本市の文化芸術における拠点施設として、市内の文化芸術に関する情報を収集・発信するとともに、相談業務や交流の場の創出や長期継続的な取り組みによる実演芸術の創造事業等を行うことにより、市民の多様な活動を支援すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	【文化芸術鑑賞の中心的役割】 ・創造性、企画性が高く利用者等のニーズに対応した実演芸術の公演の提供 ・文化芸術活動の大規模な発表の場 ・継続的な施設利用を可能とするための老朽化した施設の適切な維持管理	【市の文化振興の拠点】 ・長期継続的な取組みによる実演芸術の創造 ・市の文化を担う人材の育成 ・文化芸術の情報集積・発信、交流基地
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度の導入による市民サービスの向上により、さらに多くの市民に利用してもらうという効果を見込んでいる。 市民会館では、突発的な修繕への柔軟な対応等老朽化した施設の適切な管理を、文化センターでは、市の文化振興の拠点施設としての役割の發揮をそれぞれ期待している。	
成果指標※	① 施設利用者数(楽屋除く) ② 使用件数(楽屋除く) ③ 実演芸術の公演本数 ④ 施設稼働率(楽屋除く) ⑤ 大ホール稼働率	① 施設利用者数(楽屋除く) ② 使用件数(楽屋除く) ③ 施設稼働率(楽屋除く) ④ ホール稼働率 ⑤ アーティストバンク登録者数
数値目標※	① 363,000人以上 ② 4,400件以上 ③ 31本以上 ④ 59%以上 ⑤ 平日 59%以上 土日祝 79%以上	① 226,000人以上 ② 4,100件以上 ③ 45%以上 平日 46%以上 ④ 土日祝 76%以上 ⑤ 令和7年度20%増（令和元年度比）
所管課	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

## 2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人 千葉市文化振興財団
主たる事業所の所在地	千葉県千葉市中央区中央2-5-1
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年）
選定方法	非公募
非公募理由	劇場法の要求を満たすべく、本市の文化振興の拠点施設を運営していくためには、長期継続的に市と一体となって文化施策を推進する役割を指定管理者が担う必要があるため。
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

## 3 管理運営の成果・実績

### （1）成果指標に係る数値目標の達成状況

ア 市民会館

成果指標	数値目標※	R6年度実績	達成率※
① 施設利用者数（楽屋除く）	363,000人以上	298,384人	82.2%
② 使用件数（楽屋除く）	4,400件以上	3,171件	72.1%
③ 実演芸術の公演本数	31本以上	26本	83.9%
④ 施設稼働率（楽屋除く）	59%以上	44.6%	75.6%
⑤ 大ホール稼働率	平日 59%以上 土日祝 79%以上	68.3% 84.5%	115.7% 107.0%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

イ 文化センター

成果指標	数値目標※	R6年度実績	達成率※
① 施設利用者数（楽屋除く）	226,000人以上	80,969人	35.8%
② 使用件数（楽屋除く）	4,100件以上	2,150件	52.4%
③ 施設稼働率（楽屋除く）	45%以上	36.2%	80.4%
④ ホール稼働率	平日 46%以上 土日祝 76%以上	48.3% 73.9%	105.1% 97.3%
⑤ アーティストバンク登録者数	15件/年・5年間合計75件 （【市設定】令和7年度20%増 （令和元年度比）373件*20%= 74.5件）	31件	206.7%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

### （2）その他利用状況を示す指標

指標	R6年度実績

#### 4 収支状況

##### (1) 必須業務収支状況

###### ア 収入

(単位：千円)

費  目		R 6 年度	【参考】 R 5 年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
指定管理料	実績	357,536	366,491	実績-計画	0	
	計画	357,536	366,491	計画-提案	△ 25,404	人件費、光熱水費、事業見直しによる減
	提案	382,940	381,656			
利用料金収入	実績	100,934	134,456	実績-計画	△ 57,855	文化センター工事休館に伴う減
	計画	158,789	158,010	計画-提案	0	
	提案	158,789	158,010			
その他収入	実績	2,485	10,847	実績-計画	△ 4,081	市民鑑賞公演を買取型から共同主催に見直したことによる入場料収入の減
	計画	6,566	15,825	計画-提案	△ 12,544	市民ミュージカル公演の隔年実施に伴う入場料収入の減
	提案	19,110	19,110			
合計	実績	460,955	511,794	実績-計画	△ 61,936	
	計画	522,891	540,326	計画-提案	△ 37,948	
	提案	560,839	558,776			

###### イ 支出

(単位：千円)

費  目		R 6 年度	【参考】 R 5 年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
人件費	実績	247,269	251,594	実績-計画	△ 13,268	職員の退職等による減
	計画	260,537	252,983	計画-提案	△ 12,358	人員構成の差
	提案	272,895	271,649			
事務費	実績	79,031	83,497	実績-計画	9,157	光熱水費の増
	計画	69,874	87,697	計画-提案	△ 17,145	光熱水費の減
	提案	87,019	86,744			
管理費	実績	15,447	13,592	実績-計画	1,839	突発的修繕による増
	計画	13,608	14,446	計画-提案	△ 2,924	修繕費の減
	提案	16,532	16,530			
委託費	実績	143,750	150,402	実績-計画	△ 12,332	文化センター工事休館に伴う清掃業務等の減
	計画	156,082	152,892	計画-提案	8,262	業務委託等人件費上昇に伴う増
	提案	147,820	147,280			
その他事業費	実績	8,680	16,175	実績-計画	△ 4,695	市民鑑賞公演を買取型から共同主催に見直したことによる委託料の減
	計画	13,375	22,893	計画-提案	△ 13,783	市民ミュージカル公演の隔年実施に伴う委託料の減
	提案	27,158	27,158			
間接費	実績	8,587	7,321	実績-計画	△ 828	経費の見直し
	計画	9,415	9,415	計画-提案	0	
	提案	9,415	9,415			
合計	実績	502,764	522,581	実績-計画	△ 20,127	
	計画	522,891	540,326	計画-提案	△ 37,948	
	提案	560,839	558,776			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

###### 間接費の配賦基準・算定根拠

###### 【提案】

(市民会館) 12,897千円 × 33% = 4,256千円 (文化センター) 12,897千円 × 40% = 5,159千円

###### ※算定根拠

令和3年度経常収益積算額に占める指定管理料及び利用料金等の合計金額の割合で按分した金額を算定根拠とした。

## (2) 自主事業収支状況

## ア 収入

(単位：千円)

費 目		R 6 年度	【参考】 R 5 年度
自主事業収入	実績	1,922	2,412
その他収入	実績		0
合計	実績	1,922	2,412

## イ 支出

(単位：千円)

費 目		R 6 年度	【参考】 R 5 年度
人件費	実績	1,646	1,600
事務費	実績	796	701
管理費	実績		0
委託費	実績		0
使用料	実績	151	113
事業費	実績		0
利用料金	実績		0
その他事業費	実績		0
間接費	実績		0
合計	実績	2,593	2,414

間接費の配賦基準・算定根拠


## (3) 収支状況

(単位：千円)

		R 6 年度	【参考】R 5 年度
必須業務	収入合計	460,955	511,794
	支出合計	502,764	522,581
	収 支	△ 41,809	△ 10,787
自主事業	収入合計	1,922	2,412
	支出合計	2,593	2,414
	収 支	△ 671	△ 2
総収入		462,877	514,206
総支出		505,357	524,995
収 支		△ 42,480	△ 10,789
利益の還元額			
利益還元の内容			

## 5 管理運営状況の評価

### (1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

#### ア 市民会館

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数（楽屋除く）	D	(R6) 298,384人 (R5) 274,928人 (R4) 225,577人
使用件数（楽屋除く）	D	(R6) 3,171件 (R5) 3,045件 (R4) 2,751件
実演芸術の公演本数	D	(R6) 26本 (R5) 33本 (R4) 38本
施設稼働率（楽屋除く）	D	(R6) 44.58% (R5) 42.59% (R4) 37.81%
大ホール稼働率	B	平日と土日祝の平均値により評価（平均値：111.33%）

#### イ 文化センター

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数（楽屋除く）	E	(R6) 80,969人 ※休館による減 (R5) 146,221人 (R4) 110,321人
使用件数（楽屋除く）	E	(R6) 2,150件 ※休館による減 (R5) 3,154件 (R4) 2,886件
施設稼働率（楽屋除く）	D	(R6) 36.2% (R5) 33.7% (R4) 32.34%
ホール稼働率	C	平日と土日祝の平均値により評価（平均値：101.2%）
アーティストバンク登録者数	A	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）

B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）

C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満

D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満

E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

### (2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	B	選定時の提案額：382,940 実績値：357,536 357,536（実績値）÷382,940（提案額）=0.93 1-0.93=0.07 7% (参考) 4 収支状況の収入 指定管理料の数値

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：選定時の提案額から10%以上の削減

B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減

C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減

(D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)

-：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
<b>1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理</b>	C	C	
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
<b>2 施設管理能力</b>			
<b>(1) 人的組織体制の充実</b>	C	C	
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置			
従業員の能力向上			
<b>(2) 施設の維持管理業務</b>	C	C	
施設の保守管理			
設備・備品の管理・清掃・警備等			
<b>3 施設の効用の発揮</b>			
<b>(1) 幅広い施設利用の確保</b>	C	C	
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免			
利用促進の方策			
<b>(2) 利用者サービスの充実</b>	C	C	
利用者への支援			
利用者意見聴取・自己モニタリング			
<b>(3) 施設における事業の実施</b>	C	C	
施設の事業の効果的な実施			
自主事業の効果的な実施			
<b>4 その他</b>			
市内業者の育成	C	C	
市内雇用への配慮			
障害者雇用の確保			
施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

A : 管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。  
 B : 管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。  
 C : 概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。  
 D : 一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。  
 E : 管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
千葉市在住のプロのアーティストとアーツステーションとの間で話し合いを進めながら事業の拡大に繋げられたい。	令和5年度	アーティストバンク登録アーティストを対象にした交流会を行っており、事業やそれぞれの文化活動についての意見交換を行い、事業の展開の参考としている。今後においても、アーティストとの話し合いの場を設け、意見交換を行い、事業展開の参考としている。
アーティストバンクでのマッチングの成果について検証されたい。	令和5年度	アーティストバンクへの出演照会があった場合、希望を聞き取りした後、希望に添えるようアーティストの紹介を行っている。その結果、継続して紹介することが多くなっている。また、アーティスト側にもアーティストバンク登録アーティストを対象にした交流会やその他連絡時において出演時の様子等を聞き取り、紹介時の参考としている。
アーティストバンクについて市が実施するイベントでの活用も含め、広く広報されたい。	令和5年度	アーティストバンクのリーフレットを作成し、広く周知を図っている。所管課である文化振興課と連携を図り、千葉市や関係機関への周知を図りたい。
市民会館の特別会議室の利用促進について引き続き検討されたい。	令和5年度	特別会議室1は、来賓控室としての利用形態であり、他の会議室と同様の使用ができないため、割引料金を設けて利用促進を図っており、微増ではあるが増加している。今後も引き続き来賓等を招く催し物の主催者へ積極的にPRを行っていく。

## 6 利用者ニーズ・満足度等の把握

### (1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	施設利用者アンケート（利用申請者（主催者）に対し用紙を配布） 来場者満足度・事業アンケート（企画提案事業の来場者（来館者）に対し用紙を配布）		
	回答者数	市民会館 利用者104件 来場者延べ31件 事業延べ192件 文化センター 利用者93件 来場者延べ197件 事業延べ688件		
	質問項目	利用者「利用施設」「利用回数」「初回利用時の情報源」「利用内容」「利用手続きの満足度」「職員対応の満足度」「空調・清掃の満足度」「備品の満足度」「今後のご利用」 来場者満足度「清潔感」「設備」「スタッフ対応」 事業「公演情報の入手先」「居住地」「年齢層」「参加理由」「入場料」「満足度」		
結果	○事業報告書「アンケート結果報告」施設利用者アンケート集計結果報告 市民会館 104件 「利用施設」会議室1～7 28.8%、特別会議室2 26.0%、大ホール18.3%、小ホール26.9% 「利用回数」4回目以上56.5%、初めて12.9%、2回目11.8%、3回目18.8% 「初回利用時の情報源」知人より30.1%、財団HP 33.7%、千葉市HP34.9%、その他1.2% 「利用内容」会議42.3%、教室・サークルの練習や活動9.6%、教室・サークルの発表会12.5%、 コンサート7.7%、講演会16.3%、式典2.9%、演劇・ミュージカル1.9%、その他4.8% 【利用手続の満足度】96点、【職員対応の満足度】94点、【空調・清掃の満足度】90点、 【備品の満足度】85点、【今後の利用】90点、【平均】91点			
	文化センター 93件 「利用施設」会議室 I～V 44.1%、ホール10.8%、セミナー室11.8%、市民サロン5.4% リハーサル室II 5.4%、リハーサル室 I 5.4%、スタジオ6.5%、スタジオ II 6.5%、 和室4.3% 「利用回数」4回目以上83.9%、初めて8.6%、2回目3.2%、3回目4.3% 「初回利用時の情報源」知人より65.6%、財団HP28.0%、その他4.3%、千葉市HP2.2% 「利用内容」会議39.8%、教室・サークルの練習や活動21.5%、教室・サークルの発表会5.4% その他15.1%、舞踊4.3%、個人の練習4.3%、コンサート6.5%、 式典2.2%、講演会1.1% 【利用手続の満足度】91点、【職員対応の満足度】94点、【空調・清掃の満足度】92点、 【備品の満足度】90点、【今後の利用】86点、【平均】91点			
○事業報告書「来場者満足度アンケート集計結果」 市民会館 31件 1回目【清潔感】54.5点、【設備】60.6点、【スタッフ対応】76.7点、【平均】63.9点 2回目【清潔感】69.0点、【設備】64.1点、【スタッフ対応】73.8点、【平均】69.0点 3回目【清潔感】60.0点、【設備】77.3点、【スタッフ対応】86.6点、【平均】74.6点				
○事業報告書「事業アンケート集計結果」 市民会館：5件 文化センター19件 別紙のとおり				

### (2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
洋式トイレを増やしてほしい。（市民会館）	令和4年度及び令和6年度に市民会館のトイレを一部洋式化したが、今後も千葉市と情報の共有に努める。
エレベータを早く修理してほしい。（市民会館）	部品調達などで修理に時間を要したが、令和7年4月21日に修理を実施し、現在は稼働している。
工事期間、利用できなくて困ります。	文化センターでは、令和6年度に空調及び排水管の工事を実施したが、今後も利用する市民にご迷惑とならぬよう周知につとめるとともに、代替えとなる施設（市民会館等）を紹介する等、少しでも影響が小さくなるよう、努めていく。

## 7 総括

### (1) 指定管理者による自己評価

総括評価	C	所見	<p>市民会館は、施設利用者数の達成率82.2%、使用件数の達成率72.1%、実演芸術公演の達成率83.9%、施設稼働率（楽屋除く）は75.6%、大ホール稼働率（平日）の達成率115.7%、大ホール稼働率（土日祝）の達成率107.0%であった。</p> <p>施設利用者や使用件数については前年度に比べて増加したが、実演芸術公演件数はわずかに減少している。利用が増えたことによって、実演芸術以外の様々な催しが増えているためと考えられる。</p> <p>大ホールの稼働率についても昨年より増加しており、市内や近隣市の同規模のホールが工事休館及び閉館している等の影響が続いていることもあり、達成率が上回ったと考えられる。</p> <p>文化センターは、施設利用人数の達成率35.8%、使用件数の達成率52.4%、施設稼働率（楽屋除く）は80.4%、ホール稼働率（平日）の達成率105.1%、ホール稼働率（土日祝）の達成率97.3%、アーティストバンク登録者数31件であり、年度目標の206.7%であった。文化センターでは空調設備改修・給排水管改修のため、令和6年度はホールが8か月、諸室（会議室以外）が7か月休館しており、施設利用人数及び使用件数の達成率に、色濃く影を落とした。</p> <p>なお、指定管理者として、ホールの30日前割引や市民会館大・小ホールセット割引、特別会議室控室割引、文化センタースタジオⅡ等の学生割引を周知することで、施設の稼働率の向上に努めた。</p>
------	---	----	--

### (2) 市による評価

総括評価	C	所見	<p>各項目から算定する全体評価の目安としてはD評価となるが、文化センターの利用者数及び使用件数の減は、工事に伴う休館を主要因としており、数値目標を下回ることは避けられない状況であったと言える。</p> <p>一方で、市民会館大ホールの稼働率及びアーティストバンクへの登録者数は目標値を大きく上回っており、鑑賞や文化振興の拠点という各施設のミッションに対する成果として平均以上の評価を得られたと言える。</p> <p>また、施設管理については、管理運営の基準に基づく運営が行われており、老朽化した施設の中でも市民サービスを損なうことなく、円滑な施設運営を行っている。</p> <p>以上を踏まえ、各施設に求められた役割に応じた良好な管理運営を行っていると総合的に判断し、C評価とした。</p> <p>今後は、アーティストバンクのさらなる活用や、魅力的な企画提案事業を検討・実施することで、利用者数の増加につなげられたい。</p>
------	---	----	--

#### 【評価の内容】

- A : 市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B : 市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C : 概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D : 管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E : 管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

### (3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

<p>ア 市の作成した年度評価案の妥当性について</p> <p>市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。</p>
<p>イ 管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について</p>
<p>(ア) アーティストバンクのマッチング活動などについて、結果を可視化できるよう検討されたい。</p>
<p>(イ) 市の文化芸術振興計画と一体となって事業を実施することを検討されたい。</p>
<p>(ウ) 備品の安定的な維持管理に努められたい。</p>
<p>(エ) 指定管理者の財務状況について、計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、収益性が低いことが懸念されるものの、事業継続が直ちに困難になるとは考えにくく、倒産、撤退のリスクはないと判断される。</p>